

16 久間田地域づくり協議会



【スローガン】
みんなでつくろう！
人と人のつながりのある久間田

1

久間田地区・地域づくり協議会って？

久間田地区は、伊勢湾と鈴鹿山脈のほぼ中ほどに位置し、米づくりが盛んな、自然豊かな地区です。鈴鹿の茶どころとして、茶の加工から販売までを広く行う大きな製茶工場もあります。

地域住民同士の仲が良く穏やかな人柄で、祭事やイベント等には熱心であり、中でも勇壮な太鼓踊りが見られる弁天まつりには、毎年多くの方が参加しています。

久間田地域づくり協議会では、地域の発展のために日々様々な活動・取組を行っています。

2

主な取組

久間田地域づくり協議会では、災害に対する備えとして、防災意識の向上を目的とした防災フェスタの開催や、避難所運営訓練を行っています。また、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指し、高齢者の憩いの場の提供や、「サロンこだま」の充実を図っています。さらに、子育てしやすい地域づくりのための「くまだふれあい広場」の開催や、登下校時や夏休み期間の見守り活動等を行っています。



▲弁天まつりでの太鼓踊り



▲実際の火を使った消火器訓練

問合せ先 ▶ 久間田地域づくり協議会 事務局

住所：鈴鹿市下大久保町797番地の1 ☎電話・FAX番号：390-6913

3

今回紹介するのはこの事業！

毎年夏休みの期間に開催している「くまだふれあい広場」は、ものづくりや様々な体験を通じて、親子のふれあいはもちろん、地域の方同士のコミュニケーションの場となっています。

今年は新たに竹を使ったカエルの作成や、講師を招いて紙飛行機を自分で作って飛ばす体験を行いました。



▲工作の様子

4

どんな課題や思いがあるの？



公民館運営委員長 伊藤 隆さん

「くまだふれあい広場」を通じて、地域内住民の仲が一層深まり、共助の意識が芽生え、安心して暮らせる地域となるよう、この事業に取り組んでいます。

また、近年は地域内のこどもの数が減少し、参加者が年々少なくなっていることが課題となっており、少しでも参加者が増えるよう、体験内容の見直しに尽力しています。

5

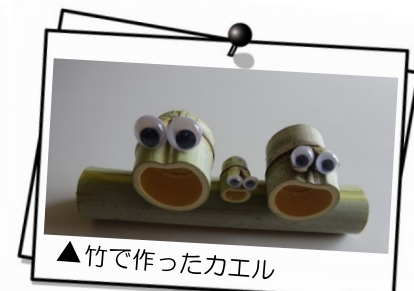
その事業が生まれるまで！

この事業が始まったのは、今から30年以上前、少なくなりつつある親子のふれあいの場を提供し、絆を深めてもらいたいとの思いから、「親子ふれあい広場」としてスタートしました。

一昨年から「くまだふれあい広場」と名称を変え、久間田地区の住民の方がより気軽に参加できる事業へと変化し、地域の交流の場となっています。



▲スーパーボールすくい



▲竹で作ったカエル



▲紙飛行機づくり



▲わたがし

6

その事業に参加した人の声



今まで作ったことがある紙飛行機と違って、遠くまで飛ばすことができました。他の形の紙飛行機も自分で作って飛ばしてみたいです。



竹細工や紙飛行機づくりなど、こどもたちに普段できない色々な体験をさせることができる良い機会だと思います。来年も参加したいです。